

霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

- * 当院では、下記の臨床研究を実施しております。
- * 研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。
- * 本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合、また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
- * 診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。
- * 研究はあくまで日常診療から集積される診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様に何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名（承認番号）	茨城県における炎症性腸疾患患者に関する多施設共同後方視的観察研究：I-BRITE study（2025-8）
研究責任者の氏名（部門）	宇野 広隆（消化器内科）
研究の対象者（研究対象期間）	2023 年 1 月から 2030 年 3 月までに診断された 16 歳以上の炎症性腸疾患患者（潰瘍性大腸炎、クローン病、分類不能型炎症性腸疾患）
研究の目的	炎症性腸疾患（IBD）とは、腸に慢性炎症が生じる難病で、その病態は、遺伝的背景や環境因子などが複雑に絡み合った多因子疾患です。IBD は、主に潰瘍性大腸炎とクローン病に分かれます。本邦の患者数は近年急激に増加しており、茨城県の患者数は、潰瘍性大腸炎が 2,846 人（全国 11 位）、クローン病が 841 人（全国 13 位）と報告され、全国でも上位にランキングされています。 そこで、本研究は、茨城県の基幹病院における患者様の臨床情報のデータベースを構築することで、病型、併存疾患、内科治療内容や、外科治療、疾患活動性などに関する詳細を明らかにすることを目的としています。
研究の方法	各施設において、カルテに既に記載された診療記録の調査により、診療データを抽出します。そして、他施設から情報提供を受け、データ解析を行います。患者個人を特定することのできる情報（氏名・診療 ID）を削除して研究独自の被験者識別コード（研究用 ID）を付与することで匿名化を行います。
研究に使用される診療情報項目	診療データに関しては以下の項目を評価します。年齢、性別、診断名と診断時年齢、疾患活動性、生活歴、BMI（肥満度を表す指数）、治療データ、免疫介在性炎症性疾患や大腸癌を含む悪性疾患の既往歴、家族歴、手術関連データ、血液検査、便検査、内視鏡画像やレポート、内視鏡生検検体や手術検体の病理組織所見、腹部エコー、CT、MRI、病型といった潰瘍性大腸炎とクローン病の臨床個人調査票に記載されたデータも評価対象とします。
個人情報の保護について	患者様の ID、氏名、生年月日等の個人情報を診療録より収集しますが、氏名は研究用 ID で匿名化し、院外には持ち出さず、その他原資料の取り扱い、及び人権の確保についても十分配慮し、当該研究以外の利用は行わないことといたします。
共同研究機関の有無（名称、責任者氏名）	筑波大学附属病院 消化器内科 秋山 慎太郎
備考	

お問い合わせ先：〒300-8585 茨城県土浦市下高津 2-7-14
独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター（電話：029-822-5050）